

平成14年度(第二回)大豆づくり日本一表彰事業 審査結果 発表!!

去る4月22日、「大豆づくり日本一表彰事業」(主催:(社)全国農業改良普及協会)の全国審査が行われ、以下のように授賞者が決定しました。

農林水産大臣賞

個別農家の部

山口 善己氏

佐賀県白石町 品種むらゆたか 作付面積0.68ha 単収332kg/10a 上位等級割合100%

粘質土壌の水田で、トラクタの組作業による耕起・播種同時作業、無人ヘリによる適期防除、汎用コンバインによる収穫、共同乾燥施設での乾燥調製など、主な作業を共同作業や委託作業化することによって低コスト化を実現し、また、生産団地のリーダーとして、生産量の確保と倒伏防止のための2度の中耕培土など、基本技術に基づく的確な作業で高単収を維持し、14年産については全量種子大豆として合格している。技術水準の高い集落の中でも単収向上の牽引役となり、指導的役割も果たしている。

生産集団の部

大塚大豆生産組合

福岡県三輪町 品種フクユタカ 作付面積21.9ha 単収330kg/10a 上位等級割合88%

平成2年に結成された構成農家35戸、オペレーター6人の共同利用組織。基幹作業の効率化により労働時間の短縮・生産費の削減を実現している。土壌改良剤の投入、種子全量更新、一斉播種、弾丸暗渠・2度の中耕培土での高畦化による湿害の回避、乾燥時の畦間かん水、無人ヘリによる適期防除、コンバインによる丁寧な収穫などにより安定した高単収、高い上位等級割合を維持している。

生産局長賞

個別農家の部

芝 茂氏 愛媛県広見町 品種ワ1カ 作付面積0.5ha 単収359kg/10a 上位等級割合96%

東内 秀憲氏 岡山県美作町 品種丹波黒 作付面積6.1ha 単収144kg/10a 上位等級割合82%

生産集団の部

豊里農業経営活性化協議会大豆部会

北海道北村 品種双マル 作付面積80.6ha 単収226kg/10a 上位等級割合95%

藤西生産組合 佐賀県千代田町 品種ワ1カ 作付面積6.3ha 単収317kg/10a 上位等級割合100%

発行：不定期

発行元：農林水産省農産振興課 豆類班 tel 03-3502-8111(内線3543、3534) fax03-3502-0869

- ・記事や大豆生産振興に関する御質問・御感想など、御自由にお寄せください。
  - ・記事を転載される場合は、御一報ください。
  - ・農産振興課では大豆に関する情報発信手段としてホームページを開設していますので、是非ご利用下さい。
- なお、大豆ホームページアドレスは <http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/hatashin/daizu/> です。

